

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場取引所 東名

上場会社名 トヨタ紡織株式会社

コード番号 3116 URL <http://www.toyota-boshoku.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 豊田 周平

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 町井 博之

TEL (0566)26-0313

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	663,636	△19.5	11,524	△53.5	10,070	△56.4	△433	—
21年3月期第3四半期	824,445	—	24,764	—	23,116	—	7,631	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△2.33	—
21年3月期第3四半期	40.91	40.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	510,788	185,064	30.3	831.91
21年3月期	466,506	189,038	33.9	848.01

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 154,603百万円 21年3月期 158,003百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	5.00	20.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において期末日及び第2四半期末日を基準日とするほか、基準日を定めて剰余金の配当をすることができる旨を定めておりますが、現時点では期末日を基準日とする配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	△5.1	20,000	42.3	17,000	27.9	4,000	—	21.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	187,665,738株	21年3月期	187,665,738株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,823,187株	21年3月期	1,344,452株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	186,035,256株	21年3月期第3四半期	186,553,798株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢、事業運営や為替変動等内外の状況変化により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
2. 当社は、安定的な配当の継続を基本としております。しかしながら、経営環境の先行きが依然不透明であるため、当期の配当予想額につきましては、現時点では未定とし、今後の業績動向を勘案した上で、当期末決算を日処にご提案させていただきたいと考えております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(9ヶ月)の連結業績につきましては、売上高は、減産の影響などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ1,608億円(△19.5%)減少の6,636億円となり、製品別には次のようになりました。

シート、トリムなどの内装品につきましては、減産の影響などにより前年同四半期連結累計期間に比べ1,454億円(△19.8%)減少の5,873億円となりました。

フィルター・パワートレイン部品につきましては、前年同四半期連結累計期間に比べ78億円(△13.0%)減少の522億円となりました。

繊維・外装品他につきましては、前年同四半期連結累計期間に比べ75億円(△23.9%)減少の240億円となりました。

経常利益につきましては、合理化など増益要因はありましたが、減産減収の影響、製品価格変動の影響などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ130億円(△56.4%)減少の100億円となりました。

また、四半期純利益(純損失)につきましても、前年同四半期連結累計期間に比べ80億円(前年同四半期連結累計期間は76億円の四半期純利益)減少の4億円の四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、手元流動性の減少などはありませんでしたが、売上債権や設備投資による固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ442億円増加の5,107億円となりました。

一方、負債は、前連結会計年度末に比べ482億円増加し、3,257億円となりました。主な要因は、買入債務の増加などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ39億円減少し、1,850億円となりました。主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、景気の悪化に底打ちの兆しが見られるものの、雇用・所得環境が厳しさを増す中で、個人消費は未だ弱含みで推移しております。

自動車業界におきましては、為替の動向など不透明な部分の一層の拡大、世界的な需要の落ち込みによる減産など、依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような中で当社グループは、将来の発展に向けて、環境変化に対応した事業体質強化、事業構造改革の企画・推進の取り組みを進め、当期におきましても集中と選択の観点で見直しを図りながら、事業と開発を実施する予定であります。

業績予想につきましては、通期の予想を、下期為替レート1US\$=90円の想定のもと、売上高9,300億円、営業利益200億円、経常利益170億円、当期純利益40億円と見込んでおり、主に主要顧客向けの販売が計画に対して好調に推移していることに加え、収益確保のための合理化及び経費の削減が順調に進んでいる為、平成21年10月30日の公表値から変更しております。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢、事業運営や為替変動等内外の状況変化により、実際の業績は記載の予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

また、棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した、将来の業績予測やタックス・プランニングを利用して判断しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,550	51,206
受取手形及び売掛金	127,998	80,987
有価証券	49,425	55,478
商品及び製品	4,430	4,520
仕掛品	8,302	12,619
原材料及び貯蔵品	15,011	16,567
その他	29,798	27,063
貸倒引当金	△967	△833
流動資産合計	286,550	247,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,158	65,078
機械装置及び運搬具(純額)	73,865	72,994
その他(純額)	48,132	48,384
有形固定資産合計	193,157	186,457
無形固定資産		
のれん	3,669	4,384
その他	702	956
無形固定資産合計	4,371	5,341
投資その他の資産		
投資有価証券	7,077	7,330
その他	20,057	19,932
貸倒引当金	△426	△165
投資その他の資産合計	26,708	27,096
固定資産合計	224,237	218,895
資産合計	510,788	466,506

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	135,969	91,402
短期借入金	14,195	11,505
1年内返済予定の長期借入金	150	564
未払法人税等	3,227	1,965
製品保証引当金	1,613	1,677
役員賞与引当金	258	92
その他	37,986	38,143
流動負債合計	193,400	145,351
固定負債		
長期借入金	106,510	107,013
退職給付引当金	21,941	21,040
役員退職慰労引当金	848	688
その他	3,022	3,372
固定負債合計	132,323	132,116
負債合計	325,724	277,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,108	9,122
利益剰余金	160,364	162,658
自己株式	△3,937	△3,055
株主資本合計	173,935	177,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	795	653
為替換算調整勘定	△20,127	△19,775
評価・換算差額等合計	△19,331	△19,122
新株予約権	563	402
少数株主持分	29,897	30,632
純資産合計	185,064	189,038
負債純資産合計	510,788	466,506

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	824,445	663,636
売上原価	762,219	615,343
売上総利益	62,225	48,292
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	13,786	14,682
その他	23,674	22,085
販売費及び一般管理費合計	37,460	36,768
営業利益	24,764	11,524
営業外収益		
受取利息	1,435	680
持分法による投資利益	1,387	639
その他	3,728	2,772
営業外収益合計	6,551	4,092
営業外費用		
支払利息	1,375	1,351
為替差損	3,247	2,031
その他	3,577	2,164
営業外費用合計	8,199	5,547
経常利益	23,116	10,070
特別損失		
減損損失	—	705
特別損失合計	—	705
税金等調整前四半期純利益	23,116	9,364
法人税、住民税及び事業税	7,908	6,539
法人税等調整額	1,437	△1,274
法人税等合計	9,346	5,264
少数株主利益	6,139	4,533
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,631	△433

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社グループは、自動車部品の製造、販売を主な事業としております。全セグメントの売上高の合計金額及び営業利益または営業損失の合計金額に占める自動車部品の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

区分	日本 (百万円)	北中南米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	492,664	131,952	158,812	41,015	824,445	—	824,445
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	24,672	76	6,556	738	32,044	△32,044	—
計	517,337	132,029	165,368	41,754	856,489	△32,044	824,445
営業利益又は営業損失(△)	△564	△2,294	24,907	1,272	23,320	1,443	24,764

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

区分	日本 (百万円)	北中南米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	389,480	110,509	136,262	27,384	663,636	—	663,636
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,070	910	5,013	283	31,278	△31,278	—
計	414,550	111,419	141,276	27,667	694,914	△31,278	663,636
営業利益又は営業損失(△)	1,800	△10,089	18,264	△136	9,839	1,685	11,524

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域

北中南米…アメリカ、カナダ、メキシコ、アルゼンチン

アジア…中国、タイ、ベトナム、フィリピン、インドネシア、インド

その他…オーストラリア、ベルギー、トルコ、南アフリカ

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

区分	北中南米	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	134,057	154,727	43,138	331,923
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	824,445
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.3	18.8	5.2	40.3

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

区分	北中南米	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	112,124	134,422	28,963	275,510
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	663,636
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.9	20.3	4.4	41.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域

北中南米…アメリカ、カナダ、メキシコ、アルゼンチン

ア ジ ア…中国、タイ

そ の 他…オーストラリア、ベルギー、トルコ、南アフリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国または地域における売上高であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

I. 連結決算の概要(累計)

1. 当第3四半期の業績

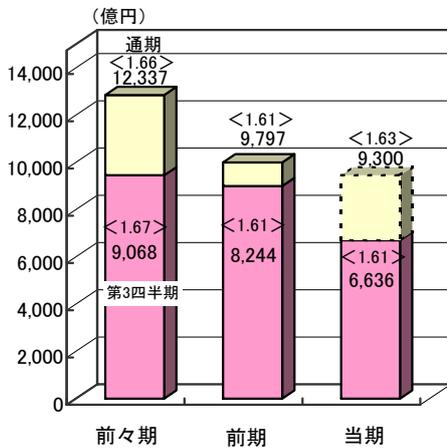
(単位:億円, %, ()は売上高比率)

	当第3四半期 (21.4.1~21.12.31)		前年同四半期 (20.4.1~20.12.31)		増減	増減率	通期予想 (21.4.1~22.3.31)	対前期 増減率	
売上高	(100.0)	6,636	(100.0)	8,244	△ 1,608	△ 19.5	(100.0)	9,300	△ 5.1
営業利益	(1.7)	115	(3.0)	247	△ 132	△ 53.5	(2.2)	200	42.3
経常利益	(1.5)	100	(2.8)	231	△ 130	△ 56.4	(1.8)	170	27.9
特別損益	※	△ 7		—	△ 7	—		△ 7	—
当期純利益	(△ 0.1)	△ 4	(0.9)	76	△ 80	—	(0.4)	40	—
1株当たり当期純利益	△2円33銭		40円91銭				21円51銭		
自己資本当期純利益率	△0.3%		4.3%				2.5%		
設備投資	319		423		△ 103	△ 24.5	450		△ 25.6
減価償却費	253		237		15	6.7	350		7.7
連結子会社数	77社		74社		3社		76社		1社
持分法適用関連会社数	10社		12社		△2社		10社		△1社

※特別損失:減損損失 7億円

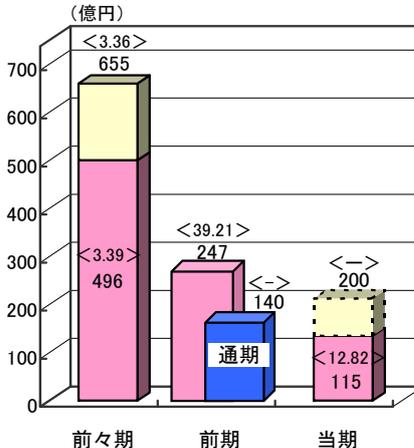
2. 売上高の推移

< >内は連単倍率(倍)



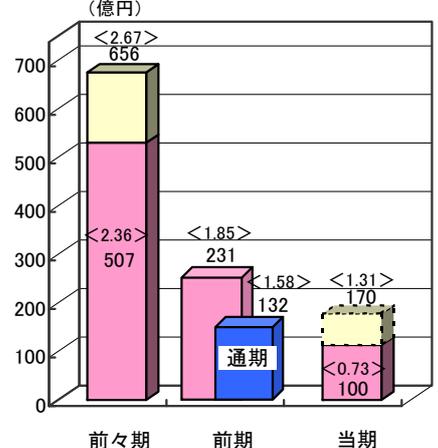
3. 営業利益の推移

< >内は連単倍率(倍)



4. 経常利益の推移

< >内は連単倍率(倍)



5. 売上高の内訳

(単位:億円, %, ()は構成比率)

	当第3四半期 (21.4.1~21.12.31)		前年同四半期 (20.4.1~20.12.31)		増減	増減率	通期予想 (21.4.1~22.3.31)	対前期 増減率	
内装品	(88.5)	5,873	(88.9)	7,327	△ 1,454	△ 19.8	(88.7)	8,250	△ 4.9
フィルター・ハワートレイン部品	(7.9)	522	(7.3)	600	△ 78	△ 13.0	(7.6)	710	△ 4.1
繊維・外装品他	(3.6)	240	(3.8)	316	△ 75	△ 23.9	(3.7)	340	△ 10.6
合計	(100.0)	6,636	(100.0)	8,244	△ 1,608	△ 19.5	(100.0)	9,300	△ 5.1

6. 経常利益の増減要因[対前年同四半期比較]

(単位:億円)

増	要因	金額	減	要因	金額	
益	・合理化	66	益	・減産減収の影響	170	
	・労務費の減少	32		・製品価格変動の影響	37	
	・諸経費の減少	41		・減価償却費の増加	33	
・営業外収支の増加	2	・為替の影響		17		
	計	141		・新規連結子会社立上げの影響	14	
			計		271	
差引経常利益の減少						△ 130

II. 単独決算の概要(累計)

(単位:億円, %, ()は売上高比率)

	当第3四半期 (21.4.1~21.12.31)		前年同四半期 (20.4.1~20.12.31)		増減	増減率	通期予想 (21.4.1~22.3.31)	対前期 増減率	
売上高	(100.0)	4,110	(100.0)	5,112	△ 1,001	△ 19.6	(100.0)	5,700	△ 6.1
営業利益	(0.2)	8	(0.1)	6	2	42.3	(0.2)	10	—
経常利益	(3.4)	137	(2.4)	124	12	10.3	(2.3)	130	54.5
特別損益	※	△ 2		△ 9	6	—		△ 2	—
当期純利益	(2.7)	110	(1.6)	81	29	36.4	(1.9)	110	265.7

※特別損失:減損損失 2億円